

プラチナ

2025年のプラチナは供給不足ではあるが地上在庫の存在で上値が重く、予想平均価格は昨年より1%高い970ドル。

パラジウム

弱い長期展望と自動車産業の先行き不透明で、予想平均価格は昨年より5%低い930ドル

ロジウム

供給不足に支えられ、予想平均価格は昨年より8%高い5000ドル

イリジウム

昨年の価格水準が高かったため、2025年は14%低い4100ドル

ルテニウム

10年ぶりの高い需要で平均価格は26%上がって550ドルの予測

『Platinum Group Metals Focus 2025』発表

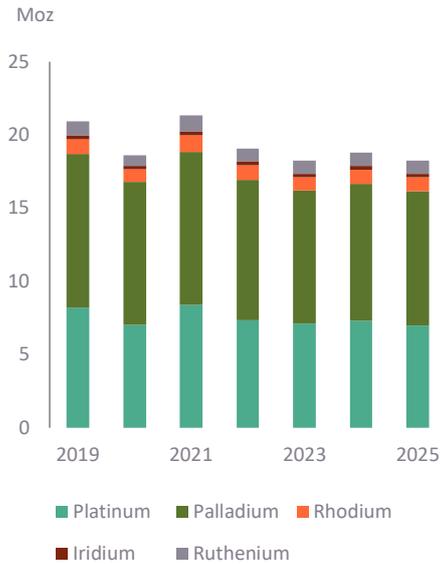
ロンドンでのプラチナウィークの開催に合わせ、我々の年次レポート『Platinum Group Metals Focus 2025』が発表された。今年は、2016年から2024年のPGM産業の需給データ分析と2025年の詳細な予測だけでなく、初めてイリジウムとルテニウムのマーケットもカバーしている。パラジウムとロジウム価格の下落でバスケット価格が押し下げられる中、マイナーなメタルの市場動向が重要性を増していることを踏まえた。

2024年のPGM価格はタイトな供給と需要の変化の中でも安定

PGM市場はここ数年間大きく揺れ動いたが、2024年は驚くほど安定していた。我々がカバーするPGM5種の全てで現物が不足して下値を支え、マクロ経済及び地政学的不安定さが消えない中、時には弱気相場になりながらも取引価格の動きは狭いレンジに限られた。鉱山業界の業界再編の動きで投資が抑えられたため鉱山供給は伸びなかった。

我々の推定では、世界のPGM生産のうちの16%は、2024年のコストベースで赤字生産となる。シバニエ・スティールウォーターが米国でのPGM生産を6.2トン削減するなど多くのコスト削減策が実行されたが、半加工在庫の加工が進んだおかげで、2024年の生産高は嵩上げされた。しかし、5Eの鉱山供給はコロナ禍以前の水準を依然大きく下回ったままだ。リサイクル供給は自動車触媒の回収量が回復し、前年比で6%増えた。中国の増加が特に大きかったが、2021年の水準よりも24%も低いままだ。宝飾品リサイクル、特にプラチナとパラジウムのリサイクルは、以前から続く長期の減少傾向に変化はなかった。

5E の総供給



出典: メタルズフォーカス

2024年の自動車需要は、EVの生産が大きく鈍化(9%増)したにもかかわらずマーケットシェアが伸びたため、PGM需要は2020年以降で初めて減少した。しかしハイブリッド車の需要が大きく増えて一部補うことができた。メタルズフォーカスの PGM ディレクター、Wilma Swarts 氏は「電動化のペースは鈍化しているが、プラチナ、パラジウム、ロジウムの需要は、2024年の需要が4%減ったエンジン車の動向に強く結びついている。」と語る。

一方、工業需要はメタルによって大きく異なった。プラチナとパラジウムでは、化学産業が低迷したために需要が減ったが、ロジウムはプラチナとの代替に影響されなかったガラス産業が大きく回復し需要が伸びた。プラチナの宝飾品需要はインドの輸出が好調で9%伸びた。全体的にプラチナとパラジウムの需要は緩い減少、ロジウムは二桁台の増加となった。

イリジウムの需要は15%増えて過去最高となった。中国の化学産業の拡大、銅箔の生産、パラスト水処理装置の利用、そして5Gの普及とスマートフォンのスクリーンの需要など家電産業がイリジウムの需要を支えた。固体高分子膜 (PEM) 水電解装置の普及も予想よりは遅れているがイリジウム需要に貢献した。スパークプラグと宝飾品の需要は減ったが、その他の分野の需要がそれを補った形だ。

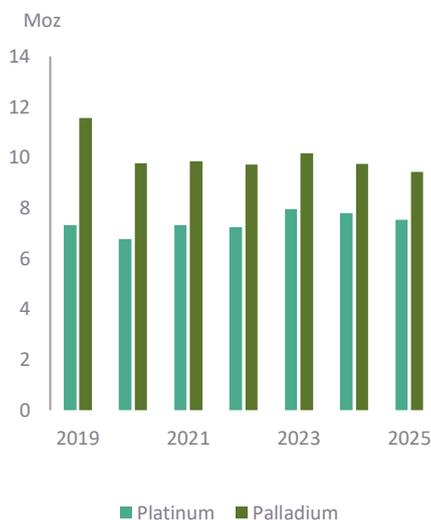
ルテニウムの需要は過去2年間で減少していたが、2024年は回復。AIの利用でデータ処理の需要が増えたことや中国の化学産業の需要増が回復を支えた。再生可能エネルギーを使わずに生産される水素を含む水素の改質プロセスでのルテニウムの利用など、水素生産のルテニウム需要の成長が期待される。

2025年も PGM 5種の供給は限定的

今の PGM 産業には不確定要素が非常に多い。新たな関税政策が世界貿易に打撃を与えており、特に自動車産業への悪影響が危ぶまれる。『Platinum Group Metals Focus 2025』発表後、米中間では115% 関税が引き下げられ、ドル高、インフレ緩和、金利予測など動きが見られたが、前回の相互関税緩和同様に、これもあくまでも90日間の措置に過ぎない。

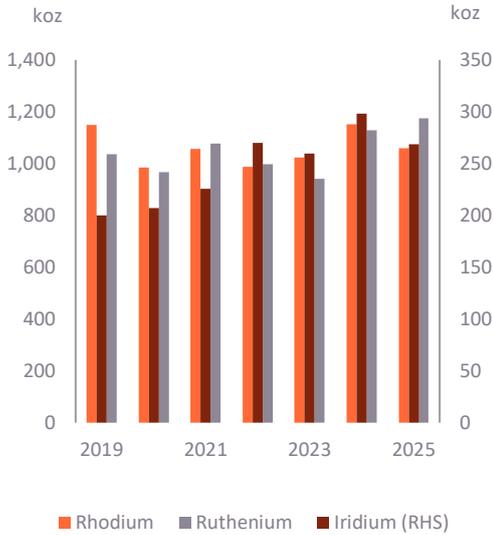
このような状況はすでに前途多難な PGM 需要にさらなる暗雲をもたらしているが、2021年以降は鉱山供給、リサイクル供給ともに減っているため、PGM 市場全体では現物不足が続く。

プラチナとパラジウムの需要



出典: メタルズフォーカス

その他の PGM 需要



出典: メタルズフォーカス

Wilma氏は、「PGM 5種が供給不足になっているのは、需要が増えたからというよりは、供給が伸びないのが主な原因だ。2024年と違い、今年の鉱山生産は半加工在庫による嵩上げはなく、5種のうち4種のPGMでは需要も弱いため相殺される形になるだろう。ルテニウムだけが量的には少ないとはいえ、需要が増えて2025年は過去最高となるだろう。」

プラチナは供給不足16.5トンとされ、それが下値を支えるが、地上在庫の存在で上値に重圧がかかってレンジから抜けられない動きになるだろう。年間平均価格の予想は前年比で1%高い970ドル。

パラジウムは今年も供給不足だが、その不足幅は7.9トンに縮まるだろう。弱い自動車の需要が長期展望に影を落とす。投資家の大きなショートポジションが上値を抑えており、ショートスクイーズが起こる可能性もある。年間平均価格は5%下がって930ドル。

ロジウム需要もパラジウムと同じ要因に影響をうけ、現物不足は3.3トンに減るだろう。平均価格は8%高い5000ドルの予測。地上在庫がほとんどないこと、ガラス需要の回復などが、すでに歴史的に高くなっている価格を支えるだろう。

イリジウムは、2025年は化学産業の大規模な生産規模拡大がないため全体の需要は増えない見込み。電子材分野では、先進国の5Gインフラがほぼ普及し終わったため今後の需要増は望めない反面、PEM水電解装置の需要増が一部補うだろう。全体としては多くはないが1.21トンの供給不足が価格を支え、年間平均価格は4100ドルの予測。2024年は5000ドルで年明け高値が維持されたが、今年は4400ドルで始まり、年間平均は14%低くなるだろう。

ルテニウムは7年連続で供給が不足しているが、今年の不足は8.8トンに増えて地上在庫の取り崩しが増えるだろう。このファンダメンタルズを考えると価格の変動が大きくなり、平均価格は26%上がって550ドルになるだろう。4月に650ドルあたりまで上がってからあまり下がっていないが、高値のおかげでメタルの在庫が使われ、未加工在庫も採算が取れるようになったため、今年後半は価格が下がるだろう。

メタルズフォーカスについて

メタルズフォーカスは世界屈指の貴金属コンサルティング会社。ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムのマーケットリサーチを専門とし、定期的なレポートや需給及び相場予想、あるいは特定の要望に応じたコンサルティングを提供する。

メタルズフォーカスのレポートとコンサルティングは、高度なデータ分析と詳細な現地調査の両方をもとにしたリサーチに基づく。我々のアナリストは頻繁に主要マーケットに赴き、メーカーからエンドユーザーまで含めた関係者に取材をして直接入手した情報をレポートに役立てている。

『Platinum Group Metals Focus』について

『Platinum Group Metals Focus』はメタルズフォーカスの主なレポートの一つで、プラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム市場に関する過去の詳細な需給データ、そしてその年の予測を網羅した分析を毎年5月に発表している。鉱山生産、リサイクル、自動車触媒と宝飾品、その他の分野の需要を含むこれらPGM 5種のファンダメンタルズをあらゆる面から分析している。

『Platinum Group Metals Focus』はまた、個人投資家のインゴットとコイン需要、機関投資家の動きについても詳細な情報を掲載。巻末には PGM 鉱山生産とコスト、価格、各取引所の動向と取引フローに関する詳細なデータがある。レポートはハードコピー、PDF 形式のどちらでも入手可能である。

その他のレポート及びサービスに関しては下記までご連絡ください。

Charles de Meester, Sales Director
charles.demeester@metalsfocus.com
Tel: +44 (0)7809 125 334

Neelan Patel, Regional Sales Director
neelan.patel@metalsfocus.com
Tel: +44 (0) 7783 448 891

